

関西大学社会安全学部

2020年度第3回社会安全学セミナー

奥村伸二氏（堺市・耳原総合病院 前院長）

「耳原総合病院における新型コロナ対策と アート・プロジェクトの実践」



奥村伸二氏 エントランス「希望の芽」 コロナ禍において医療従事者を癒した「みみはらアマビエ」と「ブルースカイプロジェクト」

日時：2021年3月18日（木）14：40－16：10

場所：高槻ミュージックキャンパス（西館）4-5階ミュージックホール

Zoom 聴講の場合：先着250名。申し込み締切3月16日。無料。

◇2020年春先の新型コロナウイルス感染症の第一波到来。ぎりぎりの戦いが続く医療現場。感染の恐怖、組織破綻の恐怖、誹謗中傷、…

医療現場において、院長としていかにリーダーシップを発揮したのか。

◇アートはリスク感性を育む。日本随一のホスピタルアートを誇る耳原総合病院のアート・プロジェクトが、コロナ禍の危機において、いかに実践され、医療従事者と患者の心を癒し、地域医療に貢献したのか。

◇奥村伸二：西日本一のホスピタルアートの導入を新棟の建設時に決断。医師・院長でありながら、異文化交流に力を注ぎ、さまざまな分野から講師を招いて講演会を院内で開催。その過程でアートの意義を認識する。昨年9月まで院長としてリーダーシップを発揮し地域医療とアートの両面で組織を牽引。「アートによって医療従事者や患者のエンパワメント（勇気づけ）や職場の心理的安全性の確保等、様々な可能性が開ける」。

多数の皆さんの参加をお待ちしています。

後援：堺市と関西大学の地域連携事業「ホスピタルアートのある街・堺」堺のフランドカ向上と堺市民の健康意識向上への貢献

Zoom申込 / 担当：亀井克之（社会安全学部） Mail: kamei@kansai-u.ac.jp